

# 東日本大震災復興促進特別委員会の活動

## 【東日本大震災復興促進特別委員会開催状況】

### 平成24年1月27日開催

- ①市立病院建設候補地における最終選定結果について
- ②復興特区計画の進捗状況について
- ③仮設住宅の冬期の現状と対策について

### 平成24年2月29日開催

- ①東日本大震災からの復興を誓う決議（案）について
- ②復興促進計画について
- ③石巻市プロポーザル方式実施に関するガイドラインについて

### 平成24年3月9日開催

復興庁宮城復興局石巻支所へ緊急要望書を提出

### 平成24年3月17日開催

地元選出県議会議員との意見交換会

### 平成24年4月17日開催

- ①災害廃棄物処理業務等について
- ②石巻災害復興支援協議会に係る業務について

## 災害廃棄物処理業務等について 市のチェック体制不備を指摘

平成24年4月17日開催の東日本大震災復興促進特別委員会において、(社)石巻災害復興支援協議会の前会長が日本財団が復興支援で無償貸与していた特殊車両を、自身が経営する建設会社が受け持つ災害廃棄物処理業務に使用し、市から車両経費代金を請求していた問題を審議した。

建設会社は外部からの指摘を受け、誤請求した分を返還している。



震災の混乱期であっても、市としてのチェック機能が甘かったのではとの指摘があった。特別委員会は、市が建設会社へ支払った災害廃棄物処理業務、倒壊家屋・事業所等解体業務費用に関する資料の提出を求めた。

## 復興交付金配分について 緊急要望書を提出

復興庁が石巻市に通知した復興交付金の初回配分額が要求額の31%にとどまったことを受け、平成24年3月9日、復興庁宮城復興局石巻支所長に「復興交付金に関する緊急要望書」を提出しました。



▲宮城復興局石巻支所長へ緊急要望書を手渡す

## 地元選出県議会議員との 意見交換会

平成24年3月17日、地元選出県議会議員との意見交換会が実施されました。

当日は、「石巻圏域における東日本大震災からの復旧復興対策等について」というテーマのもと

- ①交通物流体系の確立について
  - ②県出先機関の移転について
  - ③魚市場加工団地の盛土と県管理漁港の早期着工について
  - ④堤防（防潮堤）、高盛土道路について
  - ⑤宮城県東日本大震災復興対策事業について
  - ⑥復興交付金配分について
  - ⑦がれきの広域処理について
- の7項目について意見交換が行われました。



▲地元選出県議との意見交換会の様子

# 「市民の皆様が開かれた議会」をめざします！

石巻市議会では、市民の皆様が開かれた議会をめざし、市内で事業活動を行う団体や市民グループ（10名以上）の皆様と積極的に懇談会や意見交換会を実施していきます。市政や議会運営、市の重要な事項に関して、皆様の貴重なご意見やご提言を直接お聞かせください。

- ①団体名（代表者名）
- ②参加人数
- ③懇談のテーマ（1～2項目）
- ④希望日時

をお知らせください。

詳細については議会事務局（☎0225-95-1111（内線5964））までご連絡ください。

## 議会トピック

平成24年3月28日、群馬県太田市議会全議員が本市議会を表敬訪問し、太田市議会よりの寄付金と太田市長からの親書を持参しました。

太田市は、津波で公用車を失った当市へ、青色回転灯付きパトロール車（青パト）20台の無償貸与や軽トラック、軽ワゴン車20台分の購入費の寄附、太田市産野菜を届けていただく等の多くの支援をいただきました。

太田市議会の白石議長からは、今後も積極的な交流を進め、復旧・復興へ寄与できればとのこと言葉がありました。



▲亀山市長へ親書を手渡す

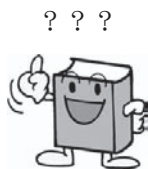


▲お礼の言葉を述べる石巻市議会阿部議長

## 石巻市議会豆知識

Q 質問通告ってなに？

A 質問する事項を、あらかじめ議長に告知知らせる事です。



Q 採決ってなに？

A 会議で、議案の採否を会議構成員の賛否をとって決定することです。

## 議会の動き

### 2月

- 7日 議会運営委員会
- 10日 市議会第2回臨時会  
産業建設委員会
- 16日 議会運営委員会、広報広聴委員会  
会派代表者会議
- 17日 産業建設委員会（現地調査）
- 21日 全員協議会
- 22日 地域医療対策特別委員会
- 27日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 29日 東日本大震災復興促進特別委員会理事会  
市議会第1回定例会開会（～3月26日まで）  
本会議（施政方針演説）  
東日本大震災復興促進特別委員会

### 3月

- 5日 本会議（施政方針に対する質疑）  
議会運営委員会
- 6日 本会議（施政方針に対する質疑）  
会派代表者会議
- 7日 本会議（条例案等審議）  
全員協議会
- 8日 本会議（当初予算案審議）  
東日本大震災復興促進特別委員会理事会
- 9日 復興交付金に関する緊急要望活動  
本会議（追加議案等審議）

- 9日 議員定数等調査検討特別委員会  
会派代表者会議
- 11日 本会議（委員会提出議案審議）
- 12日 総務企画委員会書面審査
- 13日 環境教育委員会書面審査
- 14日 保健福祉委員会書面審査
- 15日 産業建設委員会書面審査
- 16日 議会運営委員会、広報広聴委員会  
地域医療対策特別委員会
- 17日 地元選出県議会議員との意見交換会
- 19日 本会議（一般質問）
- 21日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 26日 本会議  
（一般質問、委員長報告、追加議案審議）、閉会
- 28日 群馬県太田市議会表敬訪問

### 4月

- 9日 会派代表者会議
- 11日 東日本大震災復興促進特別委員会理事会  
会派代表者会議
- 13日 会派代表者会議
- 17日 東日本大震災復興促進特別委員会
- 27日 東日本大震災復興促進特別委員会理事会

## 編集後記

震災から1年が経過し、未だ何も変わらない状況下であっても、明日を夢見て助け合い、苦しみながらも懸命に生きる。子どもたちに未来の石巻を繋ぐために。

未来の石巻を託せる子どもたちを紹介いたします。今回の議会だよりの表紙になっているのは、この3月に大谷地小学校を卒業した皆さんです。昨年12月から手作り新聞「OMKF（おんくふ）新聞」を創刊し、毎週河北地区の仮設住宅に配達しています。発行のきっかけは仮設住宅の方々にアンケートをとった結果、小学生ができることで応援しよう！と新聞作りを始めました。このような気持ちの優しい、思いやりの心をもった子どもたちがいる限り、我々大人はこの子どもたちの心に責任を持って答えなければならないと決意しております。

復興はこれからがスタートです！子どもたちのためにも、心をひとつにして、みなで前に進みましょう！

広報広聴委員会委員 安倍 太郎

## 表紙から



大谷地小学校の前6年生が、仮設住宅の方々に聞き取り調査、アンケート調査を行なった結果、仮設住宅の皆さんの思いを受けて考えた活動の一つ、それが仮設と地域、学校をつなぐ新聞の発行でした。児童が何度も話し合いを重ね決定した新聞のタイトルOMKF（おんくふ）には2通りの意味があり、**お**おやち、**み**んな、**き**ずな、**ふ**かまると**お**おかわ、**も**っと、**か**がやく、**ふ**っこうという児童の思いが込められています。

毎週水曜日に発行し、児童自らが河北三反走団地仮設住宅と追波川河川団地仮設住宅へ直接配布もしています。